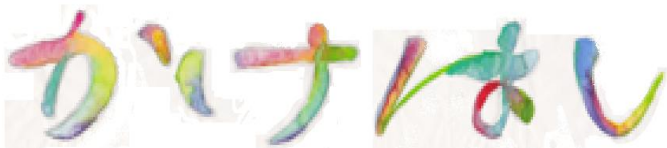


図書館くらぶ通信

№ 5号:11月05日 発行



はがきコンテスト

▼今小中学校では、応募が話題になり、教員が子供たちに紹介してくださっています。あなたも応募しませんか

新図書館起工式

十月十二日



映画監督林弘樹氏の「図書館の勉強会」ハイライト

ハイライト

十月二十六日(水) 十八時半文化会館2F

■林弘樹氏(映画恵那の監督で図書館アドバイザー)

《コラボの合併から》

▼林監督はこの映画製作に関して恵那市職員の方がいきなりアポなしで訪ねてきて予算もないけれど映画を作って欲しいと懇願されたと話されました。監督が「それでは」と立ち上がるまでの制作記録映像を見せて下さいました。

▼周辺地域の人々の心をひとつに纏めてから映画製作に取り掛かったことが映画成功の核心部分。

《図書館はまちの文化や暮らしを映す鏡》

▼図書館に大勢の人が集う上昇図書館があるまちは、上昇している。

図書館は①想像力と否定力を育てる場所、②自己責任、自己判断に不可欠な場所、③答えが一つしかないジグソーパズルと違い、組合せが無限大に広がるレゴブロックのような場所、④ランキング(順位)やマジョリテイ(多数派)といった結果が全てではなく、プロセス(過程)の大切さを学ぶ場所。

■小林光代図書館長挨拶

《提言のすべての項目について、自分の気持ちと相違する点がありません》

▼提言にメールを送るつもりで公募に応じました。今が、これまでの自分の人生の中で、最も充実しています。

▼図書館は中津川市民にとって必要なもので、ないがしろには出来ません。「世界にただひとつ、日本にただひとつ、中山道沿いにできるただひとつ」の図書館です。それを大切にしましょう。

《進化した新図書館機能にわくわく!》

▼今から二十五年前の十二月に六千十六名の方から頂いた署名をつけて新図書館建設請願を市議会へ提出し、採択されてから待ちに待ったその日が、やっと巡って来たのかと思うと万感の思いで起工式に参列させて頂きました。

すでに世を去られた皆様、現在も活躍中の仲間たちも、いつかきくと新図書館が活動の場となることを信じて待っていました。この二十五年の間には多くの施設が建築され、次は図書館かと心待ちにしていたのが、やっと目の見えることになったのです。独立した図書館の機能は多様な情報に加えて創造、交流の場として進化し

たものになるという、こんな嬉しいことはありません。

原 節子

《楽しい図書館にしたいですね!》

▼二〇〇九年中心市街地活性化計画の中に図書館が含まれ補助金が使えようになり、先輩たちの願いを引き継いで、改めて三、〇〇五名の署名で図書館建設の要望書を出しました。

また、新図書館建設の提言書作成に関わりこの二年間は図書館のことで走り回りました。やっとやっと起工式までたどりついたという思いです。デートの場になるような楽しい図書館にしたいですね。

桑澤芳江

公民館図書室で「わくわく」十月展示

▼やさか地区 (山口、坂下、川上)の展示

■10月の川上公民館図書室の展示テーマは「宇宙」。「星空の楽しみ方講座」でわくわく
▼展示期間中に開催の「星空の楽しみ方講座」で、(来年二月にもう一度開催予定)参加者は展示コーナー横の芝生から見上げる星空の観察を楽しみました。

▼講座の講師は太田晋先生。以前、岐阜市科学館のプラネタリウムに勤務され、現在は川上小学校の校長。

■かけはし四号で紹介した川上『いきいき市場』のラーメンは確かに安くておいしいと図書館ボランティア室で意見が一致しました。

<福岡の風呂敷展示>

▼風呂敷の本を借りた方に、「どうでした?」と聞くと、『ふたつ位しかできなかった。また借りたいと思ったけど中津の図書館なので急いで返したの。』
「期限前で、次に借りる人がいないと延長申し込めるのよ。」

・『えーそうなの知らなかった。でも中津の図書館だから・・・』、「本は、中津の図書館の本でも、ここに返せばいいし、ここからお願いしてもいいのよ、」

・『えーそうなの、今度また借りてみるね』。宣伝不足で、細かい事が定着してないのですね。

▼『風呂敷の謂れは知らなかった。面白いねえ』と仰る来館者が見えましたと受付の担当の方。F

加子母の展示 が結ぶ縁で図書館ボランティアの「わくわく交流会♪♪」

■12月19日(月)の展示模様替え時、交流会を行います。

▼加子母ボランティアグループ「ひなたぼっこ」で10時からです。

・図書館くらぶ会員の皆さんの参加をお待ち致します。

中央図書館

十月展示緊急救命 + AED講習

▼『AED と心臓マッサージを初体験しました。心肺停止時に脳に酸素を送り込む必要性、その為の心臓マッサージは四〜五cmほど上下を、一分間百回程度。これには力が要りました〜ッ』。K

十一月展示のわくわく 《中津川はお祭りの宝庫でした! 多彩な中津川のお祭りを発見!》

▼市内 13 地域の祭り情報を集大成できました。文献資料がなく、現地巡りをして手に入れた資料を展示しています。ご協力を頂いた皆様に御礼を申し上げます。まだまだ埋もれたままの「祭り」があるはず。教えて下さい。図書館に「祭りファイル」として保存・公開したいと考えています。(11月展示リーダーT)

花井裕一郎氏講演会
《新図書館建設、図書館活動をめぐる小布施町のとりくみ》
十一月十七日(木)午後七時〜九時・中津川市文化会館2階
主催 中津川市・市教育委員会、共催 読書サークル連絡協議会、図書館くらぶ、市文化協会
▼小布施町は長野県北部の人口

小布施町立図書館花井裕一郎館長のわくわく

一万二千人の町。全国から年間約百二十万人が訪れます。「北斎と栗のまち」「歴史と文化の町」として全国から注目され、視察が絶えません。「花井氏は、色々と面白いことを演出しているようだ」
▼花井氏は一九六一年福岡生まれ。二〇〇七年に公募で、図書館



長に就任。
▼図書館という空間を通してまちづくりの一端を担うことができる。まちづくりを演出できるなんて、面白くないわけがない。ロケで訪れた長野県の小布施で見つけた幸せな仕事は、小布施の人たちと共につくる「世界一の図書館」だった。
① 出展 幸せな仕事の見つけ方、つくり方 久米信行編 ワニブックス二〇一〇年刊 千三百円+税



墨で遊んで 年賀状を作ろう

十二月三日

図書館会議室

① 十:〇〇〜十一:〇〇

② 十三:〇〇〜十五:〇〇

■なんと「割りばし、毛糸、テツシユ、スポンジ、段ボールでも深い味のある線を描けます。」

▼わくわくする年賀状づくりのこのノウハウを生かさないと手はないですね。

▼定員は各回七名。電話でお申し込み下さい。